

2005年 7月24日 主日礼拝



### 石の枕

映画「戦場のピアニスト」を観た。ユダヤ人ピアニストがただ一人逃げのびて天井裏に隠れ住む。だが、ドイツ人将校に見つかり、ピアノを弾かせられる。ほこりのかぶったピアノから、何と美しいショパンの旋律が瓦礫の街にこだまする。すべてのものが破壊し尽くされた虚無の世界で、最も無力と思われるはずの芸術が、暴力に抗う人間性の最後の砦として立ち現れる。崩壊が極限に達している中でこそ、美は初めて崇高さを現すかのような。その前に人間はもはや敵も味方もなく、ただ沈黙するほかない。音楽家は将校に助けられて生きのびる。実話だという。(どのビデオ店さんにも、置いてある観るべき作品である。)

至高なるものを表現する音楽の極致にあるものは「聖なる沈黙」である。音、それは「沈黙と測りあえるほどに」(武満徹)、希有な恩寵として存在する。それが分かる時は、まさに音と音のしじまに立って、沈黙を聴く時である。

黙示録には「天は半時間ほど沈黙に包まれた」(8の1・共同訳)とあるが、語りえぬもの前で、人は沈黙しなければならない。そしてこの沈黙は、聖なるものの側から破られる。そして、その時、天上にハレルヤ・コーラスが響きわたると告げる。(芳賀力氏述)

イエス様の十字架も「七言」以外は、6時間の沈黙から、「耳ある者は聴くべし」の世界である。逆のぼれば、エリヤも「沈黙の声」(Voice of silence 列王上19の12。K. J. V)を聴いた。

現代人は雑音が多すぎて、チャンネルがいっぱいあって、最も大切なものを失っている。礼拝に出席するたびに、この壁を乗り越えて、深遠なる世界を味わいたいものである。

少し固い話になったので、最後は甘い話。小学生のT君は、毎日曜日、私の手にお菓子を握らせてくれる。先週は、ヨーグルト味の「あわだま」という飴玉ひとつ。こうなると、今日は何をくれるだろうかと期待してしまう。ああ！甘い関係!!

**宿題(祝大) 今週もむさばるように聖書を読みましょう!**  
Aコース:使徒行伝24章~28章 Bコース:詩篇41篇~61篇

「また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。」(エペソ五の十八・新改訳)

司会	沼田兄	小林猪兄	森下兄
奏楽			
祈祷	石橋兄	川村師	川田兄
賛美	聖歌480番	(愛する天のお父様) (聖霊様あなたを求めます)	
使徒信条			
聖書	マタイによる福音書13章44~46節 使徒行伝19章1~11節		
音楽	Cloud By Day		
メッセージ	「Welcome Home」 柴田順一副牧師 「ツラノひるね神学校」 大川従道牧師		
賛美	「都の外なるみどりが丘」(395・献金)		
主の祈り			
祝祷			

#### [大和ニュース]

- ・ ご期待ください。4時から「宴会礼拝」。人間劇場(小林猪一郎氏「別離のうらおもて」)。説教は倉知師。福音漫才あり。伝道会です。お誘い合わせてどうぞ!
- ・ 本日、洗礼準備会(9時、レインボールーム)、手話、学生会、青年会、ゴスペル、ジョイフル、アブラハム会、モーセ会等あり。ボードで確認して下さい。
- ・ 今週も祈禱会を大切に! 水曜夜7時半と木曜朝10時半。転入会式あり。
- ・ 「2時礼拝」は、小崎師(月)のみ。(8月から火曜のみ。月曜はビデオ礼拝。)
- ・ 準備祈禱会(金曜)は、今週お休み。各自祈って応援して下さい。
- ・ CBS夏期伝道:瀬戸カルバリーチャペル特集。28日夜7時より。大川牧師他
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時半。Jスミス師(V・通訳は岡村師。FMラジオ持参のこと)。
- ・ 本日夜9時「発掘あるある大辞典2」に、柏崎牧師夫妻出演(堺正章司会)。
- ・ 来週の宴会メニューは、ワーシップコンサート2。深い賛美と祈りの世界へ。